

まるごとりんご

りんごの郷 エンジョイ生活 R5

～優雅な薔薇風呂を楽しむ～

飯山にある「北信州みゆき介護支援事業所」の職員より「良かったら利用者の皆さんで楽しんで下さい。」と入浴用の薔薇をいただきました。

それも「まだ咲き始めたばかりなので少ないですけど…これから一斉に咲き出したらまたお持ちします。」というありがたいメッセージ付で。

思えば被災前は、職員が持参してくれた薔薇を浴槽に浮かべては利用者皆さんに喜んでいただいていたいました。

被災後はコロナ禍となり薔薇を愛でる余裕もなく業務に追われる日々…

「北信州みゆき介護支援事業所」の職員からの心遣いは一服の清涼剤のように生活に華やぎをもたらして下さいました。「薔薇風呂素敵だね、綺麗…」

湯船につかいなから薔薇を手にとって咳かしたので

「〇〇さんもマリーアントワネットのようです。」と伝えると「ははは、ありがとうね。」

入浴に合わなかった方からも「やだ、私もう入っちゃったよ…だけど綺麗だねえ」とお言葉をいただきました。薔薇を見た職員からも

「えー今日入浴の担当じゃないんです。」と残念そうだったので、次回を乞うご期待！と伝えておきました。

入浴用に薔薇の棘を切っても「いい香り～」「癒される香りだよね」

「薔薇が入っていた袋もまだ香りが残っているよ。」等々いつもとは違う会話が生まれました。

薔薇は午前用と午後用、また浴槽別に小分けにしてしまいましたが華やぎは小分けになることはなく優雅な存在感を放っていました。お心遣い感謝です



～優雅な薔薇と香りを楽しむ～



～食べる意欲～

食事量が落ち、ムセがあるため吸引を時折必要とする嚥下機能の低下がみられるご利用者の担当から、「食べられる時に好きな物を食べてもらいたい。」とスペシャルテーの相談がありました。ご本人に何が食べたいかお聞きしても曖昧にほほ笑むばかりで返答がなかったそうです。

そういえば、そういえば以前リクエストメニューで「さつまいもご飯」をお出ししとても喜んでおられた表情が浮かびました。ご本人に「さつまいもご飯」の話をするとう「さつまいも！」とはっきり発語して下さいました。その後「食べたいですか？」などの質問に小さく頷く程度だったため他職員にも時間を変え何度か確認してもらいました。発語はなかったそうですが「さつまいも、食べたいですか？」の質問に頷きがあったとの記録。現在の嚥下機能から「さつまいもご飯」は咀嚼が難しいので多種職で検討し「焼き芋」なら食べられるのでは？ペーストにもなるし…との意見をご本人に相談しスペシャルテーのメニューは「焼き芋」に決まりました。

企画では「焼き芋の温かさや、重み、香りを楽しんでもらいペーストにし召し上がっていただく。」とありましたが、実際にご利用者に焼き芋を持っていただくとう自ら口に焼き芋を運ばれ食べられたとのこと。事故がないよう多職種で見守っていたのですが、焼き芋が柔らかくペーストに近い状態だったこともあり、思い存分かぶりついていただきました。一番驚いていたのは担当職員で「普段はスプーンを口まで持って行けず介助が必要なんですけど…凄いですね、ビックリしました！」と。表情も意欲的で笑顔も素敵だったと感動冷めやらぬ様子で話をしてくれました。「食べたいという欲求、意欲」の力に脱帽です。



スペシャルテーはその欲求・意欲を引き出す手段ですので、当然「焼き芋の次は何が食べたいですか？」となるのです。「あんこ」「じゃ今度はあんこを食べましょうね。「粒あんですか？こしあんですか？」「粒あん！」力強い返事でした。その後多職種間で「焼き芋を食べられてから、表情が明るく活気が出てきたように感じる。吸引も無くなったし…」と現状を共有しています。たかが焼き芋されど焼き芋、視覚・触覚(温度や重み)・嗅覚・味覚・聴覚(ガサガサという紙袋の音)など意欲を引き出すには五感への刺激も重要なことを改めて気付かされました。

～新人職員の紹介～

利用者様一人ひとりに寄りそい安心・安全な介護
をしていきたいです。よろしくお願いします。

太田 瑞希



親切、丁寧な支援を心がけ皆様の
お力になれるよう頑張ります。

黒岩 瑞樹



まだまだ分からない事が多いですが
明るく笑顔で頑張ります。

久保 駿



分からないことだらけですが精一杯
頑張っていきたいです。

松本 浩太郎